

---

**コトダマ 夜霧ヨルセの独奏歌**

音踏よしの

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

コトダマ 夜霧ヨルセの独奏歌

### 【Nコード】

N3891Y

### 【作者名】

音踏よしの

### 【あらすじ】

超能力でも魔法でもないそれぞれの『力』に、“彼ら”は傷つき、悩み、『普通』に溶け込もうとしている。同じクラスの夜霧ヨルセの『力』に気づいた国粹那月は、興味本位で彼女に近づく。彼女は自らの発した言葉に魂を宿らせる、『言霊使い』だった。

## ヨルセエピソード

\*

人間は特別な力に憧れる生き物だ。

超能力や魔法など、科学的に説明のつかないものに惹かれる人間が多いだろう。

けれど、“彼ら”は望んでなどいなかったのだ。普通とは違う、異質な己の力なんて。

さほど広くもない、洒落たりビング。そこに、ひとりの少女が立ち尽くしていた。

「あ……………ツ、ああア、あ……………ツ」  
意味の無い言葉の羅列を、少女は並べていた。

少女の目の前に広がるのは、口から白い泡を吐き、白目を剥いて倒れているふたりの男女。既に息は無いらしく、ピクリとも動かない。

「こ、殺した……………私が、殺した……………アア、アアアアア  
ツ」

混乱し、綺麗に結んであった頭を掻き毟り、少女は呪った。自分の力を。

そんな少女の叫びをかき消すように、外では激しい雨が降り止まないでいた。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3891y/>

---

コトダマ 夜霧ヨルセの独奏歌

2011年11月10日01時12分発行